

【指導の重点】自ら学び考えながら、課題に主体的に取り組む子供を育てる。
 ※「問題解決力」の育成。

教科	学習の現状と課題				目標値 【総合】	具体的な授業改善 (手だて)
	総合学力調査の結果			課題		
	本校	全国	差			
国語	総合	57.0	67.9	-10.9	62	<ul style="list-style-type: none"> ・読書する時間を増やし、文章に慣れ親しむとともに、語彙量を増やす。 ・説明文を中心に、段落と段落の関係に注目させながら、筆者の伝えたいことを文章の中から見付ける活動を通して、読み取る力を高める。 ・宿題などを利用し、繰り返し練習することで、学習した漢字や言語を習得する。
	基礎	62.0	72.3	-10.3		
	応用	18.8	34.4	-15.6		
算数	総合	57.5	65.1	-7.6	63	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習や単元の学習の中で、いろいろな図形の面積や体積の公式を繰り返し確認したり、練習問題に取り組んだりして、公式を覚える。 ・朝学習や家庭学習で、平均や割合の内容を含んだ文章問題に取り組み、問題文に慣れ、何を求める問題なのかを捉えて、求め方の式につなげて考えられるようにする。
	基礎	62.8	69.6	-6.8		
	応用	37.5	47.8	-10.3		

教科	学習の現状と課題				目標値 【総合】	具体的な授業改善 (手だて)
	総合学力調査の結果			課題		
	本校	全国	差			
社会	総合	55.1	64.2	-9.1	60	<ul style="list-style-type: none"> 資料を活用する目的を確認することで、資料の見方を培う。 資料を基に考える時間を確保して、見比べて分かったことや考えられることを共有し、資料を読み取り、検討する力をつける。
	基礎	55.1	64.2	-9.1		
	応用	35.0	44.1	-9.1		
理科	総合	57.8	67.4	-9.6	62	<ul style="list-style-type: none"> 理科の用語や器具の名前・使い方などを丁寧に確認しながら学習したり、家庭学習などで復習したりすることで習得する。 できる限り、実際に観察・実験を行ったり、観察・実験の目的や条件、方法を自分たちで考える時間を確保したりすることで、理解を高める。
	基礎	62.0	71.8	-9.8		
	応用	37.5	45.9	-8.4		